

コロンビア経済情勢(2024年7月)

7月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

- 中国東風汽車の進出(18日)
- 2025年国家予算案の議会提出(30日)
- 政策金利10.75%に利下げ(31日)

【本文】

1 主な出来事

〈国内情勢〉

(1)金融政策・物価・雇用関連

ア 6月インフレ率は7.18%(ラ・レプブリカ紙、8日)

DANEによれば、6月のインフレ率は7.18%と、4月及び5月のインフレ率7.16%を上回った。なお、2023年6月のインフレ率は12.13%であった。

イ FENALCO、インフレについて懸念を表明(ポルタフォリオ紙、9日)

カバル全国商業者連合会(FENALCO)会長は、6月のインフレ率について懸念を表明する声明を発表した。とりわけ、6月の食料インフレ率が0.3%上昇したことについて懸念し、「中銀は利下げに更に慎重になるべき」と主張した。

ウ 政策金利10.75%に利下げ(ポルタフォリオ紙、ラ・レプブリカ紙、31日)

31日、中銀は金融政策決定会合を開催、6月に引き下げた政策金利をさらに50ベースポイント(0.5%)利下げし、10.75%とした。同会合では、7名の理事のうち5名が50ベースポイントの利下げ、2名が75ベースポイント利下げの立場を取った。

(2)財政関連

ア 政府、税制改革による税収増の90%を2021年及び2022年の燃料補助金に充てる(ラ・レプブリカ紙、2日)

全国金融協会(ANIF)が発表した、政府の中期財政枠組(MFMP)に基づくレポートによれば、2021年及び2022年の税制改革による税収増はそれぞれ、24兆ペソ(9200億円、GDP1.5%相当)及び30兆ペソ(1兆1500億円、GDP1.8%相当)であった。ANIFは、「税制改革による税収増は議会で承認されたものではあったものの、過去2年間で49兆ペソ相当が燃料補助金に充てられた。」と指摘した。

イ 予算執行率47%を超える(ラ・レプブリカ紙、5日)

財務省によれば、2024年上半期の予算執行率は47.4%であった。2024年国家予算の総額は503.2兆ペソ(17兆9000億円)。投資予算の執行率が高かったのは、鉱業エネルギー省

(41. 1%)、教育省(39. 4%)、平等衡平省(32. 9%)、科学技術イノベーション省(28. 5%)、保健社会保障省(28. 4%)となっている。

ウ 経済活性化計画に炭化水素部門から徴収したロイヤリティを充てる(ラ・レプブリカ紙、10～11日)

国家企画庁(DNP)は、経済活性化政策で、工業、観光、住宅、エネルギー、農牧業、建設の各セクターを主軸とする旨発表した。本件に関し、ペトロ大統領は、財政法とともに議会に提出する見込みであると発言した。ロペスDNP長官は、予算執行の遅れが顕著なため、経済活性化政策にも遅れが出ているが、同政策の目的は明確である旨発言した。なお、経済活性化計画には、炭化水素部門から徴収されたロイヤリティ収入16. 8兆ペソ(約6100億円)が充てられる。

エ 対外債務残高、GDP比51. 2%(ポルタフォリオ紙、10日)

コロンビア中銀によれば、4月末時点の公的・民間対外債務残高は、1977億4900万ドルであった(GDP比51. 2%相当。前年同月比で107億5500万ドル増)。なお、公的・民間対外債務残高は、GDP比で見ると、本年1月54. 0%、2月53. 6%、3月50. 8%、4月51. 2%と推移している。

オ フィッチ・レーティングス、2024年の住宅価格を5～7%上昇と予測(ラ・レプブリカ紙、12日)

格付会社のフィッチ・レーティングス社は、コロンビアの住宅価格が2024年末までに5～7%、2025年末までには4～6%上昇すると予測した。なお、同社は、メキシコの住宅価格が2024年末までに7～9%、2025年末までに5～7%上昇すると予測。ブラジルについて2024年は4. 5%～6. 5%、2025年はコロンビアと同じ4～6%と予測している。

カ 政府、国際金融機関からの融資を模索(ラ・レプブリカ紙、22日)

経済社会政策審議会(CONPES)は、政府に対し、国際金融機関から50億ドルの融資を受けことが望ましいとの勧告第4135号を発出した。同勧告にてCONPESは、2024年国家予算及び翌年以降まで予算執行が決定しているものへの資金調達を認める見解を示している。

キ 2025年国家予算案の議会提出(ラ・レプブリカ紙、30日)

29日、財務省は、2025年国家予算案を議会に提出した。同予算総額は523兆ペソ(約18兆3000億円)。うち、12兆ペソ(約4200億円)の歳入は確保されていない。また、公務員の給与等に充てられる義務的経費は327. 9兆ペソ(約11兆6100億円)、投資的経費は88. 4兆ペソ(約3兆1300億円)がそれぞれ計上されている。経済界からは、投資的経費の削減幅が大きく、経済成長に悪影響を及ぼすと懸念されている。

(3) 鉱業エネルギー関連

ア 天然ガスの不足、予測よりも早く(ラ・レプブリカ紙、25日)

コロンビア天然ガス協会(Naturgas)は、2025～26年のガス需要を満たすために、天然ガスの輸入の必要性があることを指摘した。同協会によれば、現在のガス供給量では中長期的なガス需要に対応できない。ムルガス Naturgas 会長は、「天然ガスの供給不足を回避するために、ガス供給業者が消費者のニーズを把握し、国外調達先からの供給を確保しなければならない。」と注

意喚起した。

イ バランキジャのエネルギー・プロジェクトに融資を承認(ラ・レプブリカ紙、25日)

24日、国家開発公庫(FDN)は、カリブ海沿岸地域の電力網全長24kmを伴う8か所の関連施設(110キロワット)を建設する、プロジェクトSTRバランキジャへの2460億ペソ(約86億円)の融資を承認した。FDNによる同プロジェクトへの融資額は、今回の承認額を合わせ、総額7074億9000万ペソ(約263億円)となった。同プロジェクトには、ダビビエンダ銀行、ボゴタ銀行、三井住友銀行(SMBC)、イタウ銀行等が融資している。

ウ 鉱業エネルギー省、15市で再生可能エネルギーを導入(ラ・レプブリカ紙、30日)

カマチョ鉱業エネルギー大臣は、ビチャダ県クマリボ市の電化イベントに出席、同市が公正なエネルギー移行を達成し、潜在力を開花させるために障害を克服すると発言した。政府は、地方(全国427市)での再生可能エネルギーによる電力普及を進めており、2024年中に15市が同電化イニシアチブの対象となっている。

エ エコペトル社付属研究所のICEPETがエネルギー移行を推進(エコペトル社、31日)

31日、エコペトル社は、同社付属のイノベーション・技術センター(ICP)(サンタンデル県ピエドラクエスタ市)をコロンビア石油エネルギー移行研究所(ICEPET)に改編する旨発表した。ICEPETは、エネルギー移行及び炭化水素の効率的な生産を推進するための科学研究及び技術開発を行う。ロア・エコペトル社長は、研究開発のために2030年までにICEPETへ8160億ペソ(約296億円)を投じ、水素と天然ガスを混焼して温室効果ガスを削減する方法や家庭までのガス・インフラでの輸送に関する研究を行う新しいラボを設置する旨発言した。現在、同研究所には、266人の研究員及び1100人の関連企業職員が従事しており、再生可能エネルギー、水素、ガス等の研究を行っている。

(4)その他

ア 6月新規バイク販売台数5万7302台(ラ・レプブリカ紙、2日)

全国経営者協会(ANDI)及び全国商業者連合会(FENALCO)によれば、6月の新規バイク販売台数は、前年同月比4.99%増の5万7302台であった。また、2024年上半期の販売台数は前年同期比8.5%増の37万0398台であった。

イ 運輸大臣人事(ポルタフォリオ紙、2日)

ペトロ大統領は、カマルゴ運輸大臣の後任としてガルシア(Maria Constanza Garcia)運輸次官を任命した。ガルシア新大臣は土木エンジニアで、インフラの整備計画等で20年以上の職務経験を有する。

ウ 労働省、労組と合意(ラ・レプブリカ紙、3日)

労働省は、省内の労組とストライキの停止に関し合意したと発表した。ラミレス労働大臣は、国家行政監察院の同席の下、数日間にわたり、労組と対話した。これにより、労働省は、7月9日から全国で業務を再開する。

エ 6月コーヒー生産23%増(ラ・レプブリカ紙、4日)

バアモン・コロンビア・コーヒー生産者連盟(FNC)会長は、コロンビアのコーヒー生産量が大きく回復していると発言した。6月の国内生産量は、前年同月比23%増の1172袋であった。また、2024年上半期の生産量は前年同期比16%の582万袋であった。

オ 雇用者数2280万人中、約1300万人が非正規雇用(ラ・レプブリカ紙、11日)

DANEによれば、本年3～5月の非正規雇用率(全国)は55.9%であった。前年同期が56.7%であったので、0.8%ポイント減となる。全国で2280万人が何らかの経済活動に従事し、そのうち、1080万人が正規雇用、1270万人が非正規雇用である。

カ 5月景気動向指数2.4%成長(ラ・レプブリカ紙、19日)

18日、DANEによれば、5月の景気動向指数(ISE)は2.4%成長した。同成長率は、4月の5.6%に続き今年に入って2番目に高い成長率。このうち、農業部門のISEは4.6%と高い伸びであった。

キ 自動車販売台数、年末までに19万台を予測(ラ・レプブリカ紙、19日)

国内新規自動車販売台数は、上半期に前年比6%減となったことから、伸びが期待されていない。自動車販売各社は、年末までに、2020年の記録を下回る18～19万台となると見ている。

ク 検察庁、ボニジャ財務大臣への調査開始(ポルタフォリオ紙、19日)

検察庁は、ボニジャ財務大臣及びペラスコ前内務大臣に対する国家防災庁(UNGRD)の汚職疑惑に関して調査を開始した。同汚職疑惑は、議会での法案承認のために議員に対し、UNGRDの予算を利用したもの。ペトロ大統領は、18日、ボニジャ大臣は国内有数の経済学者の1人であると擁護した。

ケ アラブ資本が国内加工食品市場の50%を占有(ラ・レプブリカ紙、22日)

週刊誌セマナやGNBスダメリス銀行等を保有する財閥のギリンスキ・グループは、ハンバーガーチェーン El Corral などで知られる食品会社グルポ・ストウレサを Grupo Empresarial Antipueno (GEA)に売却した。GEA社は、UAEアブダビに本社のある IHC Capital Holdings が所有。コロンビアの加工食品市場シェアの50.2%を占める企業がUAE資本となった。

コ 海外送金受入額(ラ・レプブリカ紙、24日)

中銀によれば、2024年1～5月の海外送金受入額は、前年同期比12.74%増の46億1000万ドルであった。また、5月の海外送金受入額は史上最高額の9億6009万ドルを記録した。なお、各月の受入額は、1月9億1279万ドル、2月9億1393万ドル、3月8億9405万ドル、4月9億2932万ドルとなっている。

サ サンアンドレス空港改修プロジェクト(ラ・レプブリカ紙、26日)

国家インフラ庁(ANI)は、本年末にサンアンドレスのグスタボ・ロハス・ピニジャ空港の改修プロジェクトの入札を行うと発表した。プロジェクトの総額は1兆ペソ(約350億円)で、コンセッション期間は30年。既存の空港施設を1万3500平米拡大し、3516平米の商業施設を新設する。同改修工事により、年間280万人の乗降客収容が可能となる。

〈対外経済関係〉

(1) 通商・投資関連

ア 5月輸出(ポルタフォリオ紙、4日)

DANEによれば、1-5月の輸出額は、前年同期比2.5%減の201億5400万ドルであった。減少した主な理由は、原油輸出の減少によるもの。原油輸出額は、前年同期比で8.7%減の98億6700万ドルであった。

イ コスタリカの太平洋同盟への加盟を検討(ラ・レプブリカ紙、5日)

太平洋同盟の加盟4か国(コロンビア、チリ、メキシコ、ペルー)は、チリ・バルパライソでハイレベル会合を開催、コロンビアからは通商担当次官及び外務次官が参加した。同会合では、コスタリカの太平洋同盟への加盟プロセスにつきワーキンググループの設置が許可された。

ウ 対韓国輸出、FTA締結から271%増(ラ・レプブリカ紙、17日)

2024年7月にコロンビアの対韓FTA発効から8年が経過する。コロンビア貿易協会(ANALDEX)によれば、コロンビアの対韓輸出額は271%増加した。ANALDEXは、「対韓FTAはコロンビアがアジア諸国と締結した初のFTAであり、締結後6年間は貿易赤字が続いたが、2023年以降、輸出が大きく伸びた。」と説明した。韓国に向け、最も多く輸出されたのは石炭で、2015年に輸出額が7000万ドルであったが、2023年に5億5200万ドルまで増加し、対韓輸出の67%を占めるまでになった。

エ 中国東風汽車の進出(ラ・レプブリカ紙、18日)

東風汽車集団(Dfmc Dongfeng)のコロンビアへの進出が発表された。同社は、30モデル以上のトラック、バス、バンをコロンビアで販売する。販売店マグナ・アウトモティブ社のファンディニョ社長は、「コロンビアで持続可能な商用車への移行をリードする。」と発言した。

主な経済指標

経済活動指標	2023/05	2024/03	2024/04	2024/05
国内総生産(四半期)(DANE): %	0.1	0.1	2.1	2.1
経済活動指数(DANE): %	-0.3	-0.7	1.8	-0.5
経済活動指数第1次産業(DANE): %	1.8	-4.5	4.8	-0.4
経済活動指数第2次産業(DANE): %	-0.7	-3.6	2.8	-0.2
経済活動指数第3次産業(DANE): %	0.4	0.3	1.5	-0.6
エネルギー需要(XM): GWh	6,845	7,047	6,812	6,927
エネルギー需要ー前年同月比(XM): %	4.0	18.7	30.2	22.2
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	10.5	10.8	10.5	10.4
主要13都市失業率(DANE): %	11.2	10.7	10.3	10.3
消費				
消費者信頼感指数(FEDesarrollo): %	-22.8	-13.0	-11.4	-14.1
実質小売売上高指数(DANE): %	-5.1	-5.6	-1.6	-1.7
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	15,695	13,346	15,291	14,807
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	76,434	40,524	55,815	70,622
物価				
消費者物価上昇率ー前月比(DANE): %	0.43	0.43	0.32	0.20
消費者物価上昇率ー前年同月比(DANE): %	12.36	7.16	7.18	6.86
生産者物価上昇率ー前月比(DANE): %	-1.73	-1.07	1.30	0.16
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	12,173	15,861	15,906	15,906
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	-3.4	-3.5	-4.8	-
実質工業売上高指数(DANE): %	-2.2	-2.9	-4.4	-
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	2,187,298	1,570,277	1,383,968	-
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	806	1,120	1,172	1,159
コーヒー生産量ー前年同月比: %	-20.7	38.9	22.6	22.4
コーヒー価格(IOC)/ 11月から “SUAVE”: USD	229.1	232.4	249.9	258.0
石油生産量(日量)(鉱業エネルギー省): バレル	773,788.6	787,761.6	781,466.8	784,131.4
石油生産量ー前年同月比(鉱業エネルギー省): %	3.6	1.8	0.5	0.3
石油生産量(日量・年内平均)(鉱業エネルギー省): バレル	772,302.8	779,797.6	780,075.8	780,655.2
石油価格Brent: USD / バレル	71.6	83.1	82.9	84.0
金融				
政策金利(中央銀行): %	13.25	11.75	11.75	11.25
為替 月初(中央銀行): COP	4,669.00	3,899.07	3,860.92	4,148.04
為替 月末(中央銀行): COP	4,408.65	3,874.32	4,148.04	4,089.05
為替 最高値(中央銀行): COP	4,713.08	3,902.63	4,175.96	4,148.04
為替 最安値(中央銀行): COP	4,408.65	3,814.94	3,860.92	3,944.97
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,157.99	1,378.74	1,404.04	1,383.61
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,099.03	1,401.08	1,380.90	1,345.70
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,164.18	1,441.68	1,411.99	1,384.76
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,092.64	1,378.74	1,365.34	1,335.31
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-599	-794	-583	-
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	4,531	4,451	3,822	-
輸出額(FOB)ー前年同月比(DANE): %	-0.5	-1.8	-4.1	-
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	20,630	20,158	23,980	-
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	5,419	5,536	4,660	-
輸入額(CIF)ー前年同月比(DANE): %	-20.4	0.6	-1.4	-
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	26,806	25,912	30,572	-
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	877	960	1,017	1,006